



2026年8月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年10月13日

上場会社名 株式会社カーブスホールディングス 上場取引所 東
コード番号 7085 URL <https://www.curvesholdings.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 増本 岳
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 松田 信也 (TEL) 03-5418-9922
定時株主総会開催予定日 2026年11月23日 配当支払開始予定日 2026年11月24日
有価証券報告書提出予定日 2026年11月20日
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2026年8月期の連結業績(2025年9月1日～2026年8月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年8月期	43,387	15.5	7,755	22.3	7,573	16.8	4,908	14.1
2025年8月期	37,566	5.9	6,342	16.2	6,481	18.4	4,303	20.6

(注) 包括利益 2026年8月期 6,921百万円(195.1%) 2025年8月期 2,345百万円(△56.3%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年8月期	53.56	—	23.0	18.9	17.9
2025年8月期	46.75	—	21.8	16.1	16.9

(参考) 持分法投資損益 2026年8月期 一百万円 2025年8月期 一百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年8月期	41,119	22,626	54.9	253.18
2025年8月期	39,205	20,160	51.4	218.99

(参考) 自己資本 2026年8月期 22,556百万円 2025年8月期 20,160百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年8月期	7,206	△826	△6,537	8,399
2025年8月期	6,211	△727	△4,892	8,383

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年8月期	—	8.00	—	9.00	17.00	1,595	36.4	7.9
2026年8月期	—	10.00	—	20.00	30.00	2,755	56.0	12.7
2027年8月期(予想)	—	16.00	—	16.00	32.00		52.3	

(注) 2026年8月期期末配当金の内訳(普通配当 10円00銭、記念配当 10円00銭)

3. 2027年8月期の連結業績予想（2026年9月1日～2027年8月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	22,000	10.2	4,160	8.4	4,110	9.7	2,600	16.6	29.18
通 期	46,000	6.0	8,700	12.2	8,600	13.6	5,455	11.1	61.23

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名)ー、除外 一社(社名)ー

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年8月期	92,857,493株	2025年8月期	93,857,493株
② 期末自己株式数	2026年8月期	3,764,901株	2025年8月期	1,796,210株
③ 期中平均株式数	2026年8月期	91,659,594株	2025年8月期	92,060,520株

(注) 期末自己株式数には、株式会社日本カストディ銀行(信託E口)が所有する当社株式(2026年8月期 1,764,650株、2025年8月期 1,795,970株)が含まれています。また、株式会社日本カストディ銀行(信託E口)が所有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めています。(2026年8月期 1,774,459株、2025年8月期 1,796,757株)

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料5ページ「1.経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

当社は、2026年10月13日(火曜日)に機関投資家及びアナリスト向け決算説明会を開催いたします。決算説明会で使用する資料は同日にTDnet及び当社ウェブサイト(<https://www.curvesholdings.co.jp/>)に掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	4
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	4
(4) 今後の見通し	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	7
3. 連結財務諸表及び主な注記	8
(1) 連結貸借対照表	8
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	10
(3) 連結株主資本等変動計算書	12
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	14
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	15
(継続企業の前提に関する注記)	15
(セグメント情報等)	15
(1株当たり情報)	15
(重要な後発事象)	15

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当社グループ（当社及び連結子会社）は「女性だけの30分健康フィットネス カーブス」を中核に「30分 予約不要 サポート付きジム メンズ・カーブス」「からだ動き回復センター ピント・アップ」などの事業を展開しています。これら事業を通じて国民の健康寿命の延伸とWell-beingの向上に寄与し、社会課題の解決に貢献する「地域密着の健康インフラ」として、顧客サービス強化による会員満足度向上、会員数拡充、店舗網拡大に努めています。

当連結会計年度（2025年9月～2026年8月）の経営成績は以下の通りです。売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益全てにおいて過去最高となりました。

	前連結会計年度 (百万円)	当連結会計年度 (百万円)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
売上高	37,566	43,387	5,821	15.5
営業利益 (利益率)	6,342 (16.9%)	7,755 (17.9%)	1,413	22.3
経常利益	6,481	7,573	1,091	16.8
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,303	4,908	605	14.1

「女性だけの30分健康フィットネス カーブス」の店舗数は前連結会計年度末（2025年8月31日）1,996店舗から17店舗純増し2,013店舗となりました。会員数は前連結会計年度末86.3万人から3.2万人純増し89.5万人となり、連結会計年度末における過去最高の会員数となりました。年3回の新規入会募集キャンペーンを行い、TV、WEBを中心としたメディアミックスマーケティング、口コミ紹介マーケティング、地域密着プロモーションを展開したことにより、新規入会増において着実な成果を上げることができました。また、2026年4月には既存会員様の会費価格改定を行い会費単価が向上しています。顧客満足度の一層の向上を図ってきたことにより、会費価格改定の退会率への影響も軽微なものとなり、月次退会率も低水準で推移をしました。

会員向け物販は、会員様への「食生活の相談強化月間」を展開した結果、連結会計年度における会員向け物販売上高は過去最高を更新しました。また、当連結会計年度末の定期便契約者数も過去最高となりました。主力商品「カーブスプロテイン」の原材料価格の高騰が続き、同商品の粗利益率は悪化をしましたが、栄養バランスに気を付ける方向けの商品「ヘルシービューティ」の契約数が順調に伸びたことなどにより、会員向け物販もまた増収増益となっています。

これらの結果、当連結会計年度のチェーン売上（フランチャイズ店を含めた会費入会金売上および会員向け物販売上の合計額）は、934億円となり過去最高を更新しました。会費入会金売上、会員向け物販売上ともに過去最高の実績です。

当連結会計年度末（2026年8月31日）の国内「女性だけの30分健康フィットネス カーブス」の店舗数、会員数、チェーン売上高は次の通りです。

<国内「女性だけの30分健康フィットネス カーブス」店舗数・会員数>

	前連結会計 年度末 (2025年8月末)	当連結会計年度末 (2026年8月末)		
			前連結会計 年度末比	
店舗数	1,996店舗	2,013店舗	17店舗	0.9%
内、直営店舗数	82店舗	84店舗	2店舗	2.4%
FC店舗数	1,914店舗	1,929店舗	15店舗	0.8%
会員数	86.3万人	89.5万人	3.2万人	3.7%

(注) 1. 当連結会計年度の新規出店数は23店舗、閉店・統合数は6店舗となっています。

2. 国内「女性だけの30分健康フィットネス カーブス」会員数には、オンラインフィットネス「おうちでカーブス」および店舗とオンラインのハイブリッドサービス「おうちでカーブスWプラン」の会員数を含んでいます。

<国内「女性だけの30分健康フィットネス カープス」チェーン売上高>

	前連結会計年度 (2024年9月～ 2025年8月)	当連結会計年度 (2025年9月～2026年8月)		
			前連結会計年度比	
チェーン売上高	856.0億円	934.0億円	78.0億円	9.1%
内、会費・入会金売上	626.4億円	668.3億円	41.9億円	6.7%
会員向け物販売上	229.5億円	265.6億円	36.0億円	15.7%

「30分 予約不要 サポート付きジム メンズ・カープス」は当連結会計年度に20店舗新規出店し、総店舗数は45店舗となりました。既存店舗の着実な会員数増加に加え、新規出店店舗の開店時会員数も計画以上の推移となっています。本格的な成長ステージに入るべく、さらなる出店拡大を図っていきます。

「からだ動き回復センター ピント・アップ」は当連結会計年度に17店舗新規出店し、総店舗数は54店舗となりました。既存店会員数も着実に増加をしており、新規出店の強化を図っていきます。

これらの結果、当連結会計年度末(2026年8月31日)の3ブランド(「女性だけの30分健康フィットネス カープス」「30分 予約不要 サポート付きジム メンズ・カープス」「からだ動き回復センター ピント・アップ」)の国内店舗数、会員数、は次の通りです。

<3ブランドの国内店舗数・会員数>

	前連結会計 年度末 (2025年8月末)	当連結会計年度末 (2026年8月末)	
			前連結会計 年度末比
3ブランド合計店舗数	2,058店舗	2,112店舗	54店舗
内、「女性だけの30分健康フィットネス カープス」	1,996店舗	2,013店舗	17店舗
「30分 予約不要 サポート付きジム メンズ・カープス」	25店舗	45店舗	20店舗
「からだ動き回復センター ピント・アップ」	37店舗	54店舗	17店舗
3ブランド合計会員数	87.7万人	91.9万人	4.1万人
内、「女性だけの30分健康フィットネス カープス」	86.3万人	89.5万人	3.2万人
「30分 予約不要 サポート付きジム メンズ・カープス」	-	1.4万人	-
「からだ動き回復センター ピント・アップ」	-	1.0万人	-

海外事業は、2019年7月にFC本部事業を買収しました欧州を重点地域と位置付けています。当連結会計年度末(2026年6月末(決算期のずれにより、2ヶ月遅れでの連結取り込み))の欧州カープス(イギリス・イタリア・スペイン・他5ヶ国)店舗数は、127店舗となりました。既存店会員数および売上は過去最高の推移となっており、出店拡大フェーズに入っていきます。

販売費及び一般管理費は、前連結会計年度比8億69百万円増加しました。これは、入会数増のための広告宣伝費が増加したこと、人的資本への投資として人件費が増加したこと、システム投資により減価償却費やその他費用が増加したことなどに加え、中長期にわたり当社株式を継続して保有いただける株主様への還元をさらに充実させるために株主優待制度を拡充したことによるものです。

以上の結果、当連結会計年度における売上高は433億87百万円(前連結会計年度比15.5%増)、営業利益は77億55百万円(前連結会計年度比22.3%増)、経常利益は75億73百万円(前連結会計年度比16.8%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は、法人税、住民税及び事業税を32億66百万円計上したことなどにより、49億8百万円(前連結会計年度比14.1%増)となり、いずれも過去最高となりました。なお、当連結会計年度における包括利益は、前連結会計年度末に比べ円安が進んだことにより為替換算調整勘定が20億12百万円増加したことなどから、69億21百万円(前連結会計年度比195.1%増)となりました。

なお、海外連結子会社等の財務諸表項目の主な為替の換算レートは、次の通りです。

1 米ドル	第 1 四半期 9－11月	第 2 四半期 12－ 2月	第 3 四半期 3－ 5月	第 4 四半期 6－ 8月
期中平均 為替換算レート	147.50円[150.26円]	151.04円[151.94円]	152.66円[151.72円]	154.52円[149.88円]
連結会計期間末の 為替換算レート	148.88円[142.73円]	156.56円[158.18円]	159.88円[149.52円]	162.39円[144.81円]

[]内は前年同期の換算レート

また、当社グループはカープス事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しています。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における総資産は、前連結会計年度末に比べ19億14百万円増加し411億19百万円(前連結会計年度末比4.9%増)となりました。

流動資産は12億41百万円増加し181億58百万円(同比7.3%増)となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が11億5百万円増加したことなどによるものです。

有形固定資産は53百万円増加し6億56百万円(同比9.0%増)となりました。

無形固定資産は5億円増加し208億79百万円(同比2.5%増)となりました(注)。

投資その他の資産は1億18百万円増加し14億25百万円(同比9.1%増)となりました。

固定資産の総額は6億72百万円増加し229億61百万円(同比3.0%増)となりました。

(注)無形固定資産のうちCurves International, Inc. 買収時に発生したのれん・商標権の資産価額が、毎期の償却により米ドル建てで減少した一方、対米ドルの期末為替換算レートが前連結会計年度に比べ、1ドルにつき17.58円円安となったことにより、円換算では6億25百万円の増加となっています。

前連結会計年度末	129,172千ドル	1ドル=144.81円	円換算	187億5百万円
償却による減少	△10,131千ドル			
当連結会計年度末	119,041千ドル	1ドル=162.39円	円換算	193億31百万円

(負債)

流動負債は13億10百万円増加し127億62百万円(同比11.4%増)となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が8億75百万円、預り金が3億63百万円増加したことなどによるものです。

固定負債は18億62百万円減少し57億30百万円(同比24.5%減)となりました。これは主に、長期借入金が19億54百万円減少したことなどによるものです。

負債の総額は5億52百万円減少し184億92百万円(同比2.9%減)となりました。

(純資産)

純資産は24億66百万円増加し226億26百万円(同比12.2%増)、うち株主資本は3億83百万円増加し162億50百万円(同比2.4%増)となりました。

これは主に、親会社株主に帰属する当期純利益49億8百万円の計上から配当金の支払い17億83百万円及び自己株式の消却9億21百万円を差し引き利益剰余金が22億4百万円増加し、一方で自己株式の取得27億63百万円及び消却9億21百万円などにより自己株式が18億20百万円増加(純資産の減少)したことによるものです。

また、円安進行により為替換算調整勘定が20億12百万円増加し63億6百万円(同比46.9%増)となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)の残高は、前連結会計年度末と比較して15百万円増加し、83億99百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における営業活動の結果、72億6百万円の資金増加（前連結会計年度62億11百万円）となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益が76億37百万円、商標権償却額など減価償却費が23億80百万円だった一方、法人税等の支払額が29億96百万円だったことなどによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における投資活動の結果、8億26百万円の資金減少（前連結会計年度△7億27百万円）となりました。これは主に、無形固定資産の取得による支出が4億78百万円、有形固定資産の取得による支出が3億17百万円だったことなどによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における財務活動の結果、65億37百万円の資金減少（前連結会計年度△48億92百万円）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出が20億40百万円、自己株式の取得による支出が27億63百万円、配当金の支払額が17億83百万円だったこと等によるものです。

(参考)キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2022年8月期	2023年8月期	2024年8月期	2025年8月期	2026年8月期 (当連結会計年度)
自己資本比率(%)	32.2	38.5	46.9	51.4	54.9
時価ベースの自己資本比率(%)	199.2	171.6	177.3	195.1	205.6
債務償還年数(年)	4.6	2.4	1.5	0.8	0.4
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	58.2	96.9	123.8	102.3	124.8

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額（期末株価終値×期末発行済株式数（自己株式控除後））／総資産

債務償還年数：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

（注1）株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式総数により算出しています。

（注2）有利子負債は、連結貸借対照表中の負債のうち、利子を支払っている全ての負債です。

（注3）営業キャッシュ・フローは、連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しています。

（注4）利払いは、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しています。

(4) 今後の見通し

超高齢社会が進む日本において「健康寿命の延伸」と「Well-beingの向上」は大きな社会課題となっており、また「自分の健康は自分で守る」との認識が世の中に広がっています。このような中「女性だけの30分健康フィットネス カーブス」を中核に、「30分 予約不要 サポート付きジム メンズ・カーブス」「からだ動き回復センター ピント・アップ」などの事業を通して、より多くのお客様の健康を育て、守り、「地域密着の健康インフラ」として社会課題の解決に貢献してまいります。

2027年8月期の通期連結業績見通しは、売上高460億円(前連結会計年度比6.0%増)、営業利益87億円(前連結会計年度比12.2%増)、経常利益86億円(前連結会計年度比13.6%増)、親会社株主に帰属する当期純利益54億55百万円(前連結会計年度比11.1%増)を見込んでいます。

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

累計期間	売上高 (百万円)		営業利益 (百万円)		経常利益 (百万円)		親会社株主に帰属 する当期純利益 (百万円)	
	予想	増減率	予想	増減率	予想	増減率	予想	増減率
第2四半期(累計)	22,000	10.2%	4,160	8.4%	4,110	9.7%	2,600	16.6%
通期	46,000	6.0%	8,700	12.2%	8,600	13.6%	5,455	11.1%

業績予想数値詳細は以下の通りです。

(国内事業：3ブランド合計)

- ・3ブランド合計店舗数は、70店舗純増の2,182店舗
- ・3ブランド合計会員数は、4万～5万人純増の96万人～97万人

(国内事業：「女性だけの30分健康フィットネス カーブス」)

- ・「女性だけの30分健康フィットネス カーブス」の店舗数は13店舗純増の期末2,026店舗。
- ・会員数は期末93万人以上の予想。顧客満足度の一層の向上による退会率低減および年3回の魅力的なキャンペーン等新規入会を強化し、3.5万人以上の会員数純増。
- ・会員向け物販売上高は、主力商品「プロテイン」の会員数増に応じた定期購入契約数と販売数増、「ヘルシービューティ」の定期契約率向上、定期契約者の継続率向上などによる売上増を予想。主力商品であるプロテインの主原料価格高騰対策のため原価を低減しながら品質は向上させる第一弾の新商品を投下。

(国内事業：「30分 予約不要 サポート付きジム メンズ・カーブス」「からだ動き回復センター ピント・アップ」)

- ・「30分 予約不要 サポート付きジム メンズ・カーブス」の店舗数は35店舗純増の期末80店舗と予想。既存店舗の着実な会員数増加に加え、新規出店店舗の開店時会員数増加を背景に多店舗展開に向け出店加速。
- ・「からだ動き回復センター ピント・アップ」の店舗数は22店舗純増の期末76店舗と予想。既存店舗の会員数増加、新規出店店舗の順調な立ち上げを背景に出店を加速させるフェーズへ。

(国内事業：全体コスト、投資関係)

- ・人的資本への投資を重要戦略ととらえ、事業展開加速などのための人員増、既存社員ベースアップ含めた昇給などによる人件費の増加を見込み。
- ・店舗業務の一層の生産性向上のために引き続きシステム投資を積極的に実施。

(海外事業)

- ・重点地域である欧州（イギリス、アイルランド、スペインなど）においては既存店業績好調を背景に出店増を図る。成長に向けての準備期間と位置付け、通期で営業赤字が続く見通し。

今後事業環境が変化し、業績予想の修正が必要となった場合には速やかに開示いたします。

また、2024年8月期本決算で発表した、5年間の連結財務指標基準として以下の2点の実現を引き続き図って参ります。

- ・営業利益、EBITDA、フリー・キャッシュ・フローの年平均成長率10%以上（注1）
- ・ROIC12%以上を維持し、15%を目指す（注2）

(注1) EBITDA(Earnings Before Interest, Taxes, Depreciation and Amortization)=営業利益+減価償却費+のれん・商標権等償却費

・フリー・キャッシュ・フロー=営業活動によるキャッシュ・フロー+投資活動によるキャッシュ・フロー

(注2) ROIC(Return On Invested Capital:投下資本利益率)＝税引後営業利益÷投下資本(運転資本+固定資産)

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性および企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針です。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年8月31日)	当連結会計年度 (2026年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,703	8,743
受取手形及び売掛金	5,592	6,698
商品	1,373	1,497
原材料及び貯蔵品	370	436
その他	990	920
貸倒引当金	△114	△137
流動資産合計	16,916	18,158
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	782	839
減価償却累計額	△426	△444
建物及び構築物（純額）	356	395
工具、器具及び備品	1,079	1,096
減価償却累計額	△839	△880
工具、器具及び備品（純額）	240	216
その他（純額）	6	44
有形固定資産合計	602	656
無形固定資産		
のれん	1,347	1,387
商標権	17,375	17,956
ソフトウェア	1,654	1,530
その他	1	4
無形固定資産合計	20,379	20,879
投資その他の資産		
敷金及び保証金	340	345
繰延税金資産	854	983
その他	120	106
貸倒引当金	△8	△9
投資その他の資産合計	1,307	1,425
固定資産合計	22,288	22,961
資産合計	39,205	41,119

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年8月31日)	当連結会計年度 (2026年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,671	3,546
1年内返済予定の長期借入金	2,040	1,954
未払金	815	794
未払費用	402	375
未払法人税等	1,346	1,477
契約負債	522	522
賞与引当金	480	462
ポイント引当金	179	168
株主優待引当金	28	159
預り金	2,698	3,062
その他	265	237
流動負債合計	11,451	12,762
固定負債		
長期借入金	3,334	1,380
株式給付引当金	384	422
繰延税金負債	3,706	3,733
資産除去債務	167	170
その他	-	24
固定負債合計	7,593	5,730
負債合計	19,045	18,492
純資産の部		
株主資本		
資本金	848	848
資本剰余金	828	828
利益剰余金	15,434	17,639
自己株式	△1,244	△3,065
株主資本合計	15,866	16,250
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	4,293	6,306
その他の包括利益累計額合計	4,293	6,306
新株予約権	-	70
純資産合計	20,160	22,626
負債純資産合計	39,205	41,119

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)	当連結会計年度 (自 2025年9月1日 至 2026年8月31日)
売上高	37,566	43,387
売上原価	21,517	25,056
売上総利益	16,048	18,331
販売費及び一般管理費	9,706	10,576
営業利益	6,342	7,755
営業外収益		
受取利息及び配当金	6	12
為替差益	162	-
受取補償金	20	-
その他	17	18
営業外収益合計	206	31
営業外費用		
支払利息	61	59
為替差損	-	139
その他	5	14
営業外費用合計	66	213
経常利益	6,481	7,573
特別利益		
受取立退料	-	72
特別利益合計	-	72
特別損失		
固定資産除却損	14	8
特別損失合計	14	8
税金等調整前当期純利益	6,467	7,637
法人税、住民税及び事業税	2,590	3,266
法人税等調整額	△426	△538
法人税等合計	2,163	2,728
当期純利益	4,303	4,908
親会社株主に帰属する当期純利益	4,303	4,908

連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)	当連結会計年度 (自 2025年9月1日 至 2026年8月31日)
当期純利益	4,303	4,908
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△1,957	2,012
その他の包括利益合計	△1,957	2,012
包括利益	2,345	6,921
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	2,345	6,921
非支配株主に係る包括利益	-	-

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	848	828	12,726	△1,245	13,158
当期変動額					
剰余金の配当			△1,595		△1,595
新株予約権の発行					-
親会社株主に帰属する当期純利益			4,303		4,303
自己株式の取得				△0	△0
株式給付信託による自己株式の処分				0	0
自己株式の消却					-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	-	2,707	0	2,708
当期末残高	848	828	15,434	△1,244	15,866

	その他の包括利益累計額		新株予約権	純資産合計
	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	6,251	6,251	-	19,409
当期変動額				
剰余金の配当				△1,595
新株予約権の発行				-
親会社株主に帰属する当期純利益				4,303
自己株式の取得				△0
株式給付信託による自己株式の処分				0
自己株式の消却				-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△1,957	△1,957	-	△1,957
当期変動額合計	△1,957	△1,957	-	750
当期末残高	4,293	4,293	-	20,160

当連結会計年度(自 2025年9月1日 至 2026年8月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	848	828	15,434	△1,244	15,866
当期変動額					
剰余金の配当			△1,783		△1,783
新株予約権の発行					-
親会社株主に帰属する当期純利益			4,908		4,908
自己株式の取得				△2,763	△2,763
株式給付信託による自己株式の処分				21	21
自己株式の消却			△921	921	-
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	-	-	2,204	△1,820	383
当期末残高	848	828	17,639	△3,065	16,250

	その他の包括利益累計額		新株予約権	純資産合計
	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	4,293	4,293	-	20,160
当期変動額				
剰余金の配当				△1,783
新株予約権の発行			70	70
親会社株主に帰属する当期純利益				4,908
自己株式の取得				△2,763
株式給付信託による自己株式の処分				21
自己株式の消却				-
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	2,012	2,012	-	2,012
当期変動額合計	2,012	2,012	70	2,466
当期末残高	6,306	6,306	70	22,626

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)	当連結会計年度 (自 2025年9月1日 至 2026年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	6,467	7,637
減価償却費	720	810
のれん償却額	112	115
商標権償却額	1,410	1,454
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△37	12
賞与引当金の増減額 (△は減少)	99	△21
株式給付引当金の増減額 (△は減少)	58	37
株式報酬費用	-	20
受取利息及び受取配当金	△6	△12
支払利息	61	59
為替差損益 (△は益)	△162	98
固定資産除却損	14	8
売上債権の増減額 (△は増加)	△519	△1,051
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△315	△171
前払費用の増減額 (△は増加)	△16	△86
仕入債務の増減額 (△は減少)	341	861
未払金の増減額 (△は減少)	△231	118
未払費用の増減額 (△は減少)	28	△30
その他	703	385
小計	8,730	10,247
利息及び配当金の受取額	6	12
利息の支払額	△60	△57
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△2,463	△2,996
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,211	7,206
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△151	△317
無形固定資産の取得による支出	△543	△478
長期前払費用の取得による支出	△16	△26
敷金及び保証金の差入による支出	△11	△13
敷金及び保証金の回収による収入	1	8
その他	△7	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△727	△826
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△3,290	△2,040
新株予約権の発行による収入	-	49
自己株式の取得による支出	△0	△2,763
リース債務の返済による支出	△6	-
配当金の支払額	△1,595	△1,783
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,892	△6,537
現金及び現金同等物に係る換算差額	△209	173
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	381	15
現金及び現金同等物の期首残高	8,002	8,383
現金及び現金同等物の期末残高	8,383	8,399

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

当社グループの事業セグメントは、カーブス事業の単一セグメントのため、記載を省略しています。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)	当連結会計年度 (自 2025年9月1日 至 2026年8月31日)
1株当たり純資産額	218.99円	253.18円
1株当たり当期純利益	46.75円	53.56円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	－円	－円

(注) 1. 前連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。また、当連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 「株式給付信託(J-ESOP)」及び「株式給付信託(BBT)」の信託財産として株式会社日本カストディ銀行(信託E口)が所有している当社株式は、1株当たり純資産額の算定上、期末発行済株式数から控除する自己株式に含めています(前連結会計年度1,795,970株、当連結会計年度1,764,650株)。また、1株当たり当期純利益金額の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めています(前連結会計年度1,796,757株、当連結会計年度1,774,459株)。

3. 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりです。

	前連結会計年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)	当連結会計年度 (自 2025年9月1日 至 2026年8月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	4,303	4,908
普通株主に帰属しない金額(百万円)	－	－
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	4,303	4,908
普通株式の期中平均株式数(株)	92,060,520	91,659,594
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株 当たり当期純利益の算定に含まれなかった潜在 株式の概要	－	第2回新株予約権(新株予 約権の目的となる株式の数 1,666,000株)、第3回新株 予約権(新株予約権の目的 となる株式の数258,000株) について、当連結会計年度 においては希薄化効果を有 しないため、潜在株式調整 後1株当たり当期純利益の 算定に含めておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。